

# 里地里山及び湿地における絶滅危惧種分布重要地域抽出調査費



【令和2年度要求額 40百万円（33百万円）】

絶滅危惧種等の生息地の保全・再生を推進するため、二次的自然を中心に分布情報などの拡充を図ります。

## 1. 事業目的

- ① 「重要里地里山」・「重要湿地」における昆虫類・両生類・魚類等の分布情報を拡充するとともに、複数の種が集中的に分布する地域（絶滅危惧種分布重要地域）を抽出し、生息地等保護区指定検討等の基礎資料としての活用を図る。
- ② 調査手法が捕獲に限られていた淡水魚類について、環境DNA分析技術の標準化と一般への普及、分布情報の収集、を通じて、調査のコスト低減と迅速化に資するとともに、自治体や保全団体による調査体制の構築を支援する。

## 2. 事業内容

「種の保存法」改正により特定第二種国内希少野生動植物種制度が新設されるなど、二次的自然に生息する種も含めた保全が重要となる中で、多くの絶滅危惧種等が分布する里地里山・湿地といった生息地の保全・再生を効率的かつ効果的に進めていくため、重要地域の抽出や新技術等に係る調査を実施する。

### ■ 重要地域抽出調査

- ✓ 絶滅危惧種分布重要地域抽出手法の検討
- ✓ 重要里地里山及び重要湿地における絶滅危惧種情報の拡充
- ✓ 絶滅危惧種分布重要地域の抽出

### ■ 環境DNA技術を用いた淡水魚類調査手法の標準化等調査

- ✓ 淡水魚類を特定するためのDNA情報のデータベース化
- ✓ 環境DNA分析技術のマニュアル作成（環境DNA学会との共同）
- ✓ 環境DNA分析技術の普及・一般化のための調査体制構築

## 3. 事業スキーム

- 事業形態 請負事業
- 請負先 民間事業者・団体、大学、研究機関
- 実施期間 平成30年度～令和5年度

## 4. 事業イメージ

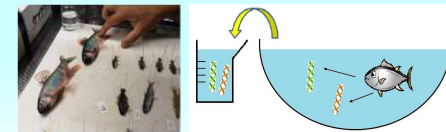


- ✓ 専門家による検討会
- ✓ 文献調査や有識者ヒアリング



絶滅危惧種の分布情報の拡充

- ✓ 環境DNA技術による効率的な情報収集手法を標準化



新たな調査手法の普及・一般化

生物多様性減少リスク管理の強化  
環境アセスメントにおける生物調査のコスト低減・迅速化

各年度事業概要	年度	重要地域	環境DNA分析
	R2	情報拡充調査等	リファレンス整備等
	R3	情報拡充調査等	リファレンス整備等
	R4～	重要地域抽出等	マニュアル取りまとめ等

お問合せ先： 環境省自然環境局自然環境計画課 電話：03-5521-8343／生物多様性センター 電話：0555-72-6033

二次的自然等に  
多くの絶滅危惧種  
が分布

## 重要里地里山 (500地区)



里地  
里山A

里地  
里山C

## 重要湿地 (633地区)



湿地B

湿地D

### ■ 重要地域抽出調査

- ✓ 絶滅危惧種分布重要地域抽出手法の検討
- ✓ 重要里地里山及び重要湿地における絶滅危惧種情報の拡充
- ✓ 絶滅危惧種分布重要地域の抽出

専門家等による  
検討会において  
調査・抽出方法  
について助言



- ✓ 既存文献調査
  - モニタリングサイト1000
  - 自然環境保全基礎調査
  - レッドデータブック等
- ✓ 有識者ヒアリング



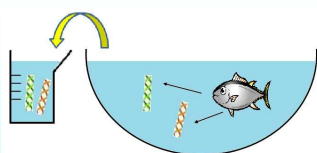
重要里地里山・湿地における  
絶滅危惧種の分布情報の拡充

	A種	I種	II種	I種	I種	II種	I種	II種
里地里山A	○	○		○	○		○	
湿地B			○					○
里地里山C	○						○	○
湿地D			○	○		○	○	

絶滅危惧種が集中的に  
分布する絶滅危惧種分布  
重要地域を抽出

里地  
里山A

湿地D



環境DNA技術による淡水魚類調査、  
同技術の標準化等

環境DNA分析技術を用いた  
淡水魚類調査方法の  
普及・一般化

### ■ 環境DNA技術を用いた淡水魚類調査手法の標準化等調査

- ✓ 淡水魚類を特定するためのDNA情報のデータベース化
- ✓ 環境DNA分析技術のマニュアル作成（環境DNA学会と連携）
- ✓ 環境DNA分析技術の普及・一般化のための人材育成及び調査体制構築

## 生物多様性減少リスク 管理の強化

- ✓ 自然再生等による効率的・効果的な保全対策の実施
- ✓ 生息地等保護区 及び国内希少野生動植物種の選定に向けた基礎資料
- ✓ 外来種対策の強化・効率化
- ✓ 科学的基盤の継続的な維持強化

## 環境アセスメント における 生物調査のコスト 低減・迅速化

- ✓ 調査コストの低減、期間の短縮化
- ✓ 捕獲が困難な種の正確な情報把握